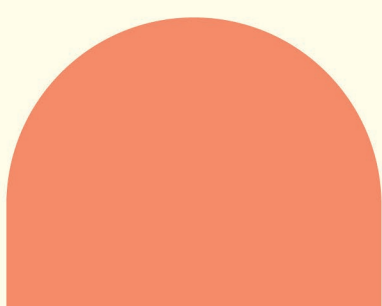
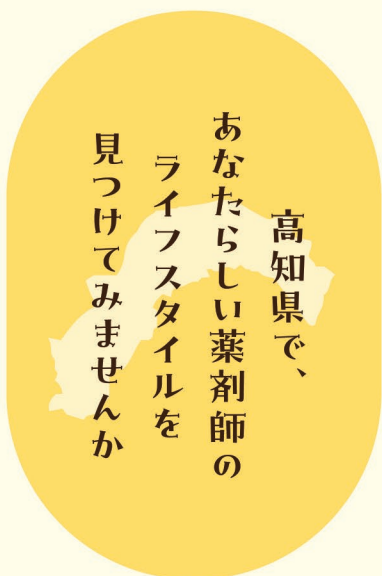


高知で輝く薬剤師

豊かな自然とおいしい食べ物に囲まれた高知県で、
仕事もプライベートも充実した薬剤師をご紹介します。



高知県で、
あなたらしい薬剤師の
ライフスタイルを
見つけてみませんか



TOPICS

若手薬剤師の活動

高知県薬剤師会 青年部

高知県の若手薬剤師が集まり、患者さんのため、また、薬剤師としてのレベルアップのため、高知県の薬剤師の魅力を広く知ってもらうため等、たくさんの目的を掲げて日々活動しています。

同年代の薬剤師同士が気軽に交流できる場や、他県の青年部の薬剤師との交流も活発に行っています。



活動内容

研修会の開催、学術大会への参加、委員会活動の補助、イベントへの参加企画・実施、BBQなどのレクリエーション、ボランティア活動などフットワーク軽く取り組んでいます。

「とさっ子タウン」のような地域貢献イベントにも参加し、子どもたちが薬剤師の仕事に関心を持つきっかけになるよう薬剤師の役割をPRしています。



とさっ子タウンとは

子どもたちが市民となり運営している「こどものまち」で、仕事を専門家から学び体験するなど、社会やまちに関心を持ち、未来を考えるイベント。

「高知に配属されたけど知り合いがいなくて相談できる仲間が欲しい」「様々な職域の薬剤師と交流したい」というニーズに応えるため、薬剤師会青年部では研修会やイベントを企画し、楽しく開催しています。

共に学び交流する場を広げ、一緒に高知県を盛り上げましょう。

青年部 部会長 井上 元
副部会長 岩村 冴夏



(公社)高知県薬剤師会

高知県病院薬剤師会 若手薬剤師育成部会

高知県の病院で働く若手薬剤師が、横断的なつながりを深め、学び合える場として活動しています。

育成部会の研修は、日々の業務で感じるちょっとした疑問や悩みを共有したり、先輩薬剤師から実践的なアドバイスをもらえたりと、肩の力を抜いて参加できる雰囲気の特徴です。



高知県病院薬剤師会

活動内容

春には新しく入職された方に向けて、気軽に参加できる“カフェ”を開催し、職場を越えて交流できる場づくりにも力を入れています。昨年度開催した2回のカフェは、参加者同士が自然に打ち解けられるような温かい時間になりました。

また、高知県薬剤師会の青年部会とも協力し、薬局で働く薬剤師と合同で研究会を開くなど、学びの幅が広がる取り組みも進めています。

今後も若手薬剤師が「高知で働いてよかった」そんな気持ちを持ち、仲間とつながりを持ち、安心して参加できる、あたたかいコミュニティ活動を継続していきたいです。



若手薬剤師育成部会 胎中 博行



田野病院 (田野町)
薬剤部部長 兼 災害・危機対策管理者

斉藤 忠男さん
山口県出身

病院薬剤師の仕事

入院患者の調剤、医薬品の情報管理、処方提案、地域の薬局からの問い合わせ対応、医薬品発注及び各部署への供給、院内感染防止対策、医師や看護師からの医薬品問い合わせ対応などを行っています。



Q. 病院薬剤師のやりがいを教えてください

A. 病院薬剤師は様々な病態に合わせた処方のため常に勉強が必要です。小さい病院だからこそ医師が意見を聞いてくれて治療に直接関われますし薬剤師としてのスキルもアップします。患者さんの笑顔が見られたときはとてもやりがいを感じます。



Q. 田野町の病院で働くことになったきっかけは

A. 徳島の大学を卒業し、高知県内の病院に就職しました。その後、災害医療や自分が勉強したいことを尊重してもらえる現在の病院に移りました。妻が高知県出身ということもあり、そのまま高知で働いています。

Q. オフタイムはどのように過ごしていますか

A. 子どもの部活動の応援や、旅行、ゴルフをしています。GWや年末年始も勤務のローテーションを組んでしっかり連休が取れています。

Q. 災害支援活動も行っているそうですね

A. 大学在学中に台湾大地震で援助隊の活動を知り「人の役に立ちたい」という思いで国際緊急援助隊の医療チームの一員として活動しています。2019年にはモザンビークでの救助活動にも参加しました。



薬剤師の仕事は、薬を渡すだけでなく患者さんの不安に寄り添い、命を支えることもできる存在です。その力は平時だけでなく、災害時にも活かされます。平時に磨いた知識と技術は、誰かにとって「薬のある安心」になります。これから薬剤師を目指す皆さんには、「薬を扱う人」から「人を支える人」になって欲しいと思います。



薬剤部には私のほか、2名の地元出身の薬剤師と北海道から災害医療を勉強するため1ターンした1名の薬剤師が所属しています。平均年齢も若くチーム医療の一員として他職種や薬剤師同士コミュニケーションを取り様々な課題に日々取り組んでいます。



地域住民の
医療・健康をサポートして地域医療に貢献



すみれ薬局（幡多郡黒潮町）

濱中 颯人さん

高知県出身

薬局薬剤師の仕事

処方箋に基づく調剤と服薬指導、薬歴管理、服薬フォローアップを行います。また、在宅患者を訪問しての服薬指導や薬学的管理など、医師、訪問看護師やケアマネジャーなど多職種で連携して患者さんをサポートしています。さらに、一般用医薬品に関するアドバイスや健康相談など地域住民のセルフメディケーションと健康づくりを支援しています。



Q. 薬局薬剤師のやりがいを教えてください

A. 地域の薬局として患者さん一人一人にしっかり向き合い、生活習慣や検査結果を基にアドバイスができることです。その結果、数値が改善された時はとても嬉しいです。また、医師の説明を忘れたり理解できなかった患者さんのサポートをして安心した顔を見られた時にやりがいを感じます。



Q. 在宅患者さんの訪問も行うそうですね

A. 自宅に医薬品をお届けして服薬指導をすることはもちろんですが、きちんと飲んでいるか確認したり、現在の体の状態や薬に関する悩み事などを聞きアドバイスを行っています。



Q. 幡多地域の薬局に就職したきっかけは

A. 黒潮町出身で田舎が好きなので大学卒業後は幡多に帰ることを決めていました。実務実習の際、私の指導薬剤師であった弊社の社長の患者さんを思う気持ちや、熱心さに感銘を受けて就職を決めました。

高知県の薬局の特徴は、地域の健康情報拠点「高知家健康づくり支援薬局」として薬剤師会や行政と連携し、地域住民の健康づくりをサポートしていることです。薬局によって強みは異なりますが、私の薬局では市町村と連携して栄養予防や糖尿病予防事業を推進したり、健康相談会を開催するなど地域住民の健康を支えられるよう日々努めています。



幡多郡黒潮町



高知県
独自!

高知家健康づくり支援薬局

高知県では、県民が健康づくりに取り組みやすい環境を整え、身近で気軽に医薬品や健康に関する専門的な相談・支援が受けられる総合的な健康情報拠点として、地域の薬局を「高知家健康づくり支援薬局」に認定しています。



行政薬剤師

高知県民の健康と安全を守り 公衆衛生の向上に貢献



高知県衛生環境研究所（高知市）
環境科学課 主任研究員
佐野 晨さん
高知県出身

行政薬剤師の仕事（高知県職員）

薬事、食品衛生、環境衛生等の分野において、関係法令に基づく許可及び監視指導、試験検査等を行います。
また、高知県の地域課題解決に向けた取り組みを企画立案し、関係団体等と協働して推進しています。

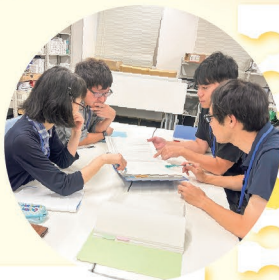


Q. 働きやすさのポイントは

A. 上司や同僚に相談しやすい雰囲気があり、困った時は全員で解決するという職場風土が根付いているため、とても働きやすい職場です。長男、次男が生まれた時には育児休業を取得しましたが、仕事と家庭を両立するための理解と支えがあったことで安心して復帰できました。家族と過ごす時間も大切にしながら働けるのはとてもありがたいです。

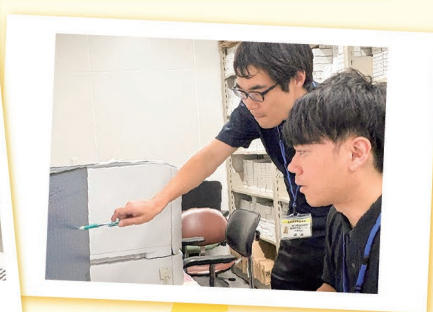
Q. 行政薬剤師のやりがいを教えてください

A. 現在の担当業務は、県内各地の大気中の化学物質や航空機騒音等に関する測定業務及び事業所立入検査等です。専門的な知識が必要になるので大変なこともあります。新しい学びが多く、また、測定結果が地域の環境保全や住民の安全につながっていると知ったとき、とてもやりがいを感じます。



Q. どのように仕事とプライベートを両立していますか

A. 仕事の合間や休日には、社会人バンドでギターを演奏しています。音楽を通してリフレッシュできる時間があることで、仕事も充実させることができています。



行政薬剤師の主な配属先

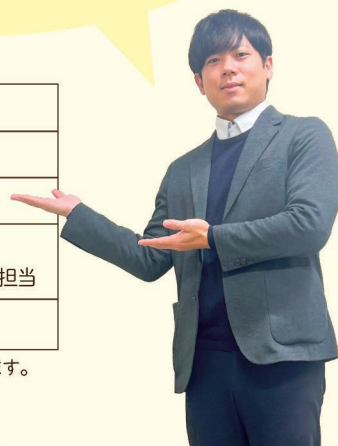
様々な部署で
活躍中！



（参考）佐野さんのこれまでの経歴

年 度	所属・担当	
H29年度～	須崎福祉保健所	食品保健担当
R2年度～	薬務衛生課	薬事指導担当
R6年度～	中央東福祉保健所	薬事指導担当 医事・災害医療担当
R8年度～	衛生環境研究所	大気担当

定期的に人事異動があります。





病院薬剤師・奨学金返還支援

病院薬剤師へ対象病院(薬剤師への奨学金返還支援及び教育プログラムによる研修を実施する病院)と県で奨学金返還を支援します。

- ・対象病院は薬務衛生課ホームページで公開中です。
- ・対象病院で一定期間勤務するなどの条件があります。

支援額

対象病院と県による支援額

最大 **270万円** 年間最大 **45万円** × 最長6年間

薬剤師キャリア形成支援

学位取得支援

対象病院で勤務しながら、大学院で学位(薬学博士)を取得する薬剤師を支援します。

支援
内容

補助対象：入学金/授業料/研究に係る費用/
居住地から大学院までの往復旅費
補助率：1/2
補助期間：5年間(入学前から大学院4年間)

- ・対象大学院は補助金交付要綱をご確認ください。
- ・対象病院は薬務衛生課ホームページで公開中です。
- ・対象病院で一定期間勤務するなどの条件があります。

専門・認定薬剤師資格取得支援

対象資格を取得した病院薬剤師や薬局薬剤師へ資格取得費用の一部を支給します。

支援額

1資格

最大 **10万円**

- ・対象資格(領域：悪性腫瘍、感染症、精神疾患)は薬務衛生課ホームページで公開中です。
- ・県内の保険医療機関等で一年以上勤務するなどの条件があります。

病院薬剤師として働きながら、薬学博士を目指す！

学位取得支援を
活用しています。



近森病院 薬剤部
東京薬科大学大学院 博士課程

西陽紀さん
神奈川県出身

大学院への進学

大学時代に高知県の地域医療の現状や持続可能な地域発展に向けた課題、今後の医療政策の在り方について学びました。その中で、薬剤師の役割が地域住民に十分に理解されていないという問題を実感し、大学卒業後は研究を通じて薬剤師の仕事や役割を見える化したいと考えるようになりました。

そのためには、高知県で薬剤師として現場の課題を直接感じながら解決策を提案していく必要があると考え、働きながら学べる社会人学生として大学院進学を決めました。

社会人としての学生生活

病院での勤務時間が終わった後、オンラインで講義を受講したり、教授からの指導を受けながら研究を進めています。

博士課程の4年間で研究成果をまとめて薬学博士の取得を目指しています。



研究内容

高齢者施設における服薬管理について研究しています。具体的には、高齢者施設での服薬管理の現状や薬局薬剤師との連携状況の実態を把握して課題を明らかにし、その解決策を検討することです。また、回復期リハビリテーション病院における薬剤師の介入効果の可視化、高齢者のポリファーマシー※対策に関する研究も進めたいと考えています。

※ポリファーマシー：単に服用する薬剤数が多いのみならず、それに関連して薬物有害事象(薬剤の使用後に発現する有害な症状又は徴候であって薬剤との因果関係の有無を問わない概念)のリスク増加、服用過誤、服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態のこと【出典：厚生労働省】

薬学博士取得後のキャリアビジョン

研究で得た知見を活かし、老年認定薬剤師を目指して、地域の皆さまに貢献したいと考えています。また、これまで多くの薬剤師の方々に支えていただいたように、将来的には教育という形で若手薬剤師へ還元していけたらと思っています。

さらに、いつかは国際医療の現場でも活躍できる薬剤師になりたいと考えています。



上司や同僚からのサポートも
研究の原動力です！



高知って こんなところ

高知は自然に恵まれ
美味しいものも豊富。

こんなにたくさん素敵なスポットがあります！

温暖な気候で、海・山・川の豊かな自然の恵みを受けています。
豪快で自由な気風で、「はちきん」「いごっそう」と呼ばれる
おおらかな中にも芯の通った県民性があります。

Data

面積

約7,102km²(全国第18位)

出典:国土交通省 国土地理院(令和8年4月1日現在)

人口

637,504人

出典:高知県統計分析課(令和8年6月1日現在 高知県推計人口)

画像提供:公益財団法人 高知県観光コンベンション協会
一般社団法人 高知県Uターンサポートセンター

高知県で活躍するUターン薬剤師

Q 高知県にUターンをしたきっかけを教えてください

大学時代に参加した病院説明会の高知県ブースでは、どの病院の方も話しやすい雰囲気でした。中でも、幡多けんみん病院は人口が少ない地域にある中核病院ということで幡多地域の皆さんが病院を頼りにしていることが分かり、薬剤師として地域医療に深く携わることができると考えて就職を決めました。また、高知県の充実した薬剤師への支援制度も就職を決めた理由の一つです。今後はその支援制度を活用して大学院進学を目指しており、現在準備を進めています。

Q Uターンを考える方へのアドバイスをお願いします

高齢化が進む日本では、地域医療を支えるスキルはますます需要が高まります。若いうちから最前線に身を置きリアルなスキルを磨くことは、将来のキャリアにおいて強力な武器になると確信しています。地方は「人手不足だから大変そう」と思われがちですが、裏を返せば、若手のうちから幅広い多様な仕事を任せてもらえるチャンスが圧倒的に多いということです。自分の可能性を狭めず、早くから多くの経験を積みたい方にこそおすすめです。

高知県にUターンしている薬剤師の仲間は多くいます。活躍できるチャンスもたくさんありますので一緒に働きませんか？



幡多けんみん病院 薬剤科(宿毛市)

遠藤 幹太さん
埼玉県出身



宿毛市

高知の暮らし&人を発信中！

高知県移住ポータルサイト



高知家で暮らす。

<https://kochi-iju.jp>



一般社団法人 高知県Uターンサポートセンター

高知 で輝く 薬剤師



高知県は、ひとつの大家族やき。

高知家